

## 樹脂チューブ・モールカッタ42 取扱説明書

### ■はじめに

- (1) この取扱説明書は **MCC** 樹脂チューブ・モールカッタ42の基本的な操作と安全な取扱方法が記載してあります。

### ■適用される品名・品番

品名	品番
樹脂チューブ・モールカッタ42	JTC-42

- (2) この取扱説明書では、もしお守りいただかないと大きな事故が発生する恐れのある注意事項は「警告」という見出しの下に記載されています。また、もしお守りいただかないと工具の破損とともに事故を誘発する恐れのある注意事項は「注意」という見出しの下に記載されています。
- (3) ご使用にあたってはこの取扱説明書をよく読み、十分理解したうえで正しく作業を行ってください。この取扱説明書に記載されている操作方法及び安全に関する注意事項は、樹脂チューブ・モールカッタ42を指定の目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に記載されていない使用法は絶対にしないでください。
- (4) この取扱説明書は、実際の作業をされる方が、いつも手元においてご使用ください。

### ■使用目的

- (1) 軟質の樹脂パイプおよび樹脂モールを切断するための手動工具です。

### ■仕様

- (1) 切断対象材

切断できるパイプの種類	切断可能なパイプサイズ		切断できるモールの種類	切断可能なモール断面寸法 底幅 × 高さ
	呼び	外径 (mm)		
ポリブテン管 (JIS K 6778)	~30	~φ42	だ円CD管モール 大阪ガス(株)指定	44.5×30 まで
水道用 ポリエチレン管(JIS K 6762)	~30	~φ42	ステンフレキ配管用モール 未来工業(株)製	40 ×40 まで
架橋 ポリエチレン管 (JIS K 6769)	~30	~φ42	配管モール 未来工業(株)製	40 ×39 まで
その他金属補強層のない樹脂ホース・ゴムホース・ナイロンチューブ類		~φ42	その他樹脂製のモール	44.5×40 まで

注) 硬質塩化ビニル管等、硬質の樹脂管は切断できません。  
※この商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

### ■安全に対する注意事項

#### ⚠ 警告

- (1) このカッタの刃は大変鋭利になっています。けがをする恐れがありますので、直接、手指で触れないように注意してください。切断作業時および、刃交換時には必ず保護手袋を着用してください。
- (2) 刃部を開放時、ラチェットギヤ部が大きくスライドします。手指を挟んでけがをする恐れがありますのでラチェットギヤ部には手指を近づけないでください。

#### ⚠ 注意

- (1) この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲でご使用ください。工具を改造したり、指定している対象材以外の切断にご使用になるとカッタの故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- (2) このカッタの刃は機構上、大変薄くなっています。切断の際、無理にこじると刃が破損することがありますので注意してください。
- (3) 切断しようとするパイプに土・砂などの異物が付着していると刃が破損したり、切断面が変形する原因となりますので、切断の前に必ずウエスなどで拭き取ってください。
- (4) フックを持ってカッタ本体をぶらさげないでください。カッタが落下し、けがをしたりカッタが破損することがあります。
- (5) カッタの各部は常に点検を行い、損傷のある状態では使用しないでください。

## ■切断作業の前に

### (1) 日常の点検・メンテナンス

- ①刃の欠け、異物の付着はないかなどを点検し、刃が欠けていれば交換してください。また異物が付着していればウエスなどで取り除いてください。
- ②カッタの各部は正常に作動するかどうかを点検してください。点検はカッタハンドルを開いたり閉じたりしてみても刃が正常に送り込まれていくかどうか確認してください。  
※動きが悪い場合は、各作動部分および刃のギヤ部に注油してください。
- ③各部のボルト及びナットが緩んでいないかを点検し、緩みがあれば増し締めを行ってください。
- ④カッタ各部に損傷はないか、ボルト・ナット・ピンなどの脱落はないかを点検し、異常があれば品名・サイズ・異常のある個所、状態を明確にしてお買い求めの販売店または下記の連絡先まで修理をご依頼ください。

## ■操作方法

- ①切断しようとするパイプまたはモールの切断個所の異物・汚れなどをウエスできれいに拭き取ってください。特に埋設管など汚れのひどいものは水洗い、または濡らしたウエスなどでパイプに付着している土や砂などを完全に除去し、清潔なウエスで拭き取ってください。
- ②ハンドル端のフックを外し、ハンドルを広げると刃が開きます。  
※フックはハンドル内側へ収納してください。(図1)
- ③切断しようとするパイプまたはモールを図のように切断材受け部に挿入し、受け部に確実に沿うように支えながらハンドルを閉じて(握って)ください。(図2)
- ④いっぱいまでハンドルを閉じた後、ハンドルを緩め「カチッ」という音を確認してから、再びハンドルを閉じて(握って)ください。(図3)  
※ハンドルを広げ過ぎると刃が開いてしまいますので手を緩める(軽く戻す)程度にしてください。
- ⑤パイプが完全に切れ落ちるまで④の動作を繰り返してください。  
※切断終了後、さらに刃を手で押さえるなどしてハンドルを無理に操作しますと、刃が本体に喰い込み開かなくなるなど、カッタの破損につながりますので注意してください。  
万一、刃が喰い込んでしまった場合は刃ギヤ部の上部をプラスチックハンマーで軽く叩いて刃を開放させてください。

## ■替刃の交換

- 刃は消耗品です。切れ味が悪くなったり、欠けたりした場合はMCCとご指定の上、お買い求めになった販売店または下記へご注文ください。 品名：樹脂チューブ・モールカッタ替刃42 品番：JTCE42
- 替刃の交換方法  
※刃の交換は必ず保護手袋を着用し、刃に十分注意して行ってください。
- ①刃を全開にし、刃の三角穴に引っ掛けてあるバネをマイナスドライバーで外してください。(図4)  
※三角穴位置は本体のJTC-42文字の内側になります。
- ②刃取り付けナットおよび取り付けボルトをスパナおよびプラスドライバーで外し、刃を取り外してください。
- ③刃の取り付けは上記の逆の手順で行ってください。  
※刃取り付けボルトの締め付けは、刃がバネの反発力で開く程度に締め付け、ナットで固定してください。  
締め付け過ぎると刃が開かなくなります。

## ■各部の名称

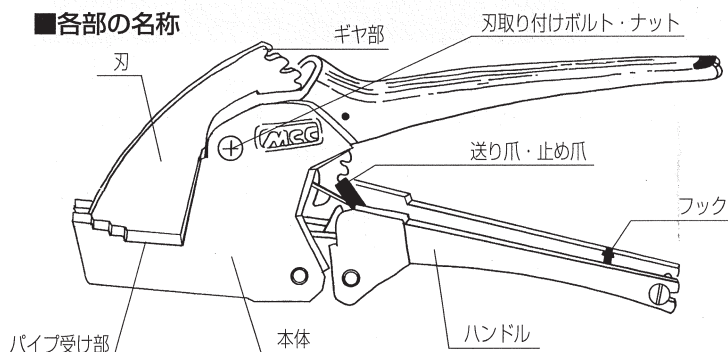


図1

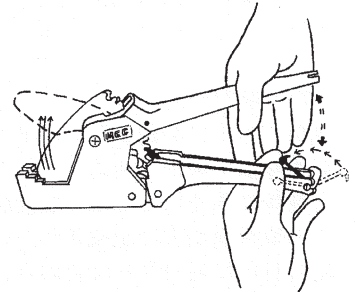


図2

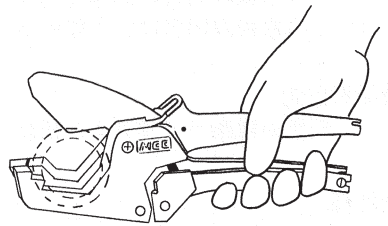
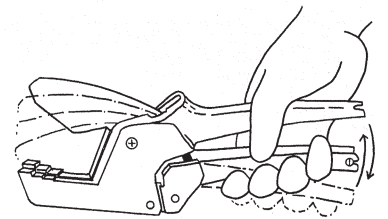


図3



※ハンドルは「カチッ」という音がするまで戻す。それ以上戻すと刃が全開します。

図4

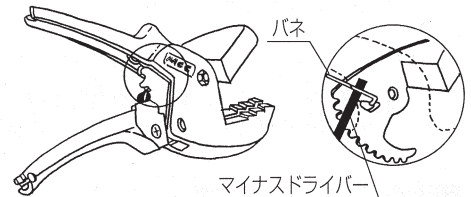
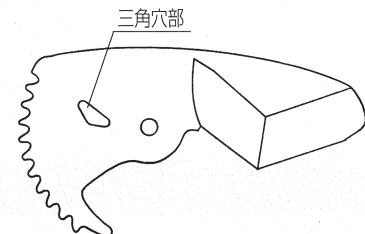


図5



株式会社 MCCコーポレーション  
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059)234-2454

http://www.mccc corp.co.jp